

「頑張る地方応援懇談会 in 兵庫」議事概要

1 日 時 平成19年6月10日（日） 10:24～12:37

2 場 所 「神戸商工貿易センター」

兵庫県神戸市中央区浜辺通5-1-14

3 出席者

【市町村長】

や	だ	たつ	お	
矢	田	立	郎	神戸市長
いわ	み	とし	かつ	姫路市長
岩	見	利	勝	相生市長
たに	ぐち	よし	き	相生市長
谷	口	芳	紀	豊岡市長
なか	がい	むね	はる	豊岡市長
中	貝	宗	治	西脇市長
き	し	じゆ	い	西脇市長
来	住	壽	一	西脇市長
ほう	らい		つとむ	小野市長
蓬	菜		務	小野市長
と	だ	よし	のり	多可町長
戸	田	善	規	多可町長
あ	だち	みち	あき	神河町長
足	立	理	秋	神河町長
よし	い		みのる	養父市議会議長
吉	井		稔	養父市議会議長
こ	ぼ	とし	ゆき	新温泉町議会議長
小	やし	俊	之	新温泉町議会議長
	林			

【総務省】

すが		よし	ひで	総務大臣
菅		義	偉	総務大臣
く	ぼ	のぶ	やす	総括審議官
久	保	信	保	総括審議官
たけ	うち	のぶ	ひろ	近畿総合通信局長
武	内	信	博	近畿総合通信局長
すえ	むね	てつ	ろう	大臣官房企画課頑張る地方応援室長
末	宗	徹	郎	大臣官房企画課頑張る地方応援室長
こう	だ	まさ	はる	自治行政局行政課長
幸	田	雅	治	自治行政局行政課長
せき		ひろ	ゆき	自治財政局調整課長
関		博	之	自治財政局調整課長
よね	だ	こういちろう		自治税務局都道府県税課長
米	田	耕一郎		自治税務局都道府県税課長

4 次 第

(1) あいさつ

- ① 菅 義偉 総務大臣
- ② 矢田立郎 神戸市長

(2) 総務省からの説明

- ① 頑張る地方応援プログラムについて
- ② 地方行財税制上の諸課題等について

(3) 意見交換

5 要 旨 〔主な意見〕

(1) 市町村長

- ・当市は、ないものねだりはやめて、あるものを徹底的に工夫し活用して、独自性を出すという精神でまちづくりを進めている。
- ・行革インセンティブ算定については、過去の努力についても反映してほしい。
- ・地方分権については、国、県、市町村の役割分担を見直すとともに、それに見合った財源を移譲してほしい。
- ・合併により政令指定都市としての法律上の人口の要件は満たしたが、実際には70万人以上ということで運用されている。その緩和及び明確化を図ってほしい。
- ・学校統合による廃校舎を再生し、山村留学の受入れを行い、地域住民とともに地域の存続、活性化、さらには次代を担う人づくりに取り組んでいる。
- ・病院を抱えて厳しい財政状況であるが、今回の繰上償還制度により大変助かっている。今後、借換についても認めてほしい。
- ・地方の頑張りをはかるためには、住民の満足度、幸福度の高さが一番の指標になるのではないか。
- ・青年教育及び離職率の低下、地方の活性化をねらいとして、日本版ギャップイヤー制度（青少年が1年間田舎暮らしをすること）の導入を提案する。
- ・企業立地促進法による支援については、全国一律ではなく、財政力を考慮した仕組みを考えていただきたい。
- ・ふるさと納税制度については、強かに推進していただきたい。
- ・本市の出生率は1.85と県下で一番高い数値であるが、地方の医師不足による地域医療の崩壊は深刻なだけでなく、自分のまちで自分の子供が産めないといった現状にあり、少子化対策以前の問題だと考えている。
- ・過疎地域自立促進特別措置法の延長と、格差社会の是正に必要不可欠な地方交付税、財政力の弱い自治体に配慮した交付税配分措置を強く求めたい。
- ・医療及び介護保険制度の安定的な運営を維持するためにも、地方自治体では確保が困難な理学療法士、作業療法士、栄養士等専門員を計画的に増員してほしい。
- ・今日ある都会の繁栄も地方からの人材の輩出のたまものであり、地方が元気になることは故郷が潤い、美しい国の原点につながると考える。広がる都市部との格差の中、頑張る地方に格段の支援をお願いしたい。
- ・企業誘致に努力しても、法人関係の税は非常に少ない。税構造の面から、何かいい方法が必要である。
- ・頑張る地方応援プログラムは、よい意味での地域間競争ということで、成果が上がることについて非常に評価したい。
- ・今行っている取組を評価するだけでは自治体のモチベーションは上がらない。これからの創造的な施策につながる前向きな制度であることが重要である。
- ・頑張りの評価は、一律横並びの評価ではなく、メリハリのついたインセンティブのある評

価値が必要である。また、客観的な指標であるべき。さらに、今回の事業は、魅力ある地方に生まれ変わろうとする取組であり、持続的な取組が可能となるような仕組みとすべきである。

- ・ 頑張る地方応援プログラムについて、条件不利地域への配慮をお願いしたい。また、取組経費の支援期間は3年間を限度とされているが、さらなる延長をお願いしたい。
- ・ 各自治体が自ら考えた事業を実施し、目標の達成如何を住民に公表する中で、その頑張りや目標達成の成果を特別交付税に反映するなど、目標をクリアできた自治体には、その結果を評価し、さらに支援していただきたい。
- ・ 過日、大都市と地方の問題を扱った番組があったが、地方が元気であるということが日本全体にとってどういう意味を持つのかという論理をしっかりと打ち出していく必要がある。この問題は、日本の文化的価値、危機管理面、国民の公平性などの観点から、国土の単一性戦略ではなく、多様性戦略をしっかりと打ち出す必要がある。
- ・ まちづくりには長い年月が必要であり、頑張る地方応援プログラムの交付税措置においても、そういった視点をお願いしたい。
- ・ 都市と地方の格差について、地方の努力を超える部分について、何らかの支援をお願いする。
- ・ 地域医療は、どうしても地域のみでは解決できない問題であり、特別な支援をお願いしたい。
- ・ 合併して公共施設の再利用をしようとしても、補助金適正化法の関係で転用が認められないなどの問題があり、配慮していただきたい。

(2) 総務省

- ・ 政令指定都市の要件は法律で定められているが、現実にはそれをはるかに超えなければ政令市に移行できないようになっている。第29次の地方制度調査会の中で、課題として取り上げたい。
- ・ 山村留学やギャップイヤーの取組は、これからの日本にとって大事なことと思う。こうしたことが全国に広がればよいのではないか。
- ・ 頑張る地方応援プログラムは、住民に公表していただければ、それに対して支援するものであり、総務省が判断することは全くない。
- ・ ふるさと納税の考え方として、地方から都会に若者が出て行って、それが固定化してしまうことに危機感をもっており、それを変えるためにも、若い人に地方に住んでもらう、そのためにはお金も必要であると考えている。
- ・ 企業誘致において市町村の財政力により差が生じることについては、十分配慮したい。
- ・ 医師不足対策については、政府内で緊急会議を開き合意事項をとりまとめたところであり、きちんと対応し、不安をなくしていきたい。
- ・ 過疎地域自立促進特別措置法については、法の期限がそろそろ来るので、今後十分検討していきたい。
- ・ 医療介護の専門家の配置については、何らかの仕組みを考えていきたい。(大臣)

- ・ 新型交付税については、人口と面積を基準とすることによってわかりやすくするとともに、予見可能性も高められたと考えている。また、新型交付税へ移行する際には、これまでの経緯も十分配慮することとしている。
- ・ 成果指標については、全国共通で客観的な指標でなければならないことから今年度は9つの指標を示しているが、さらに検討しているところである。特に、交流人口については、現時点では小売業年間商品販売額がそれに代わるものと考えているが、なお農林水産省及び国土交通省とも相談しているところである。
- ・ 過去の頑張りについては、変化率だけでは測れないのではないかとの話しもあり、絶対値を用いることも含め検討している。また、条件不利地域に対しては、算定上配慮していきたい。
- ・ コミュニティや都市農村交流については、総務大臣の指示により研究会を設けて検討してきた。また、与党においても議論されているところである。現在、関係省庁が集まって議論を深めているところである。
- ・ 新型交付税については、人口と面積で算定することとしているが、それだけでは現実の需要とかなり差が生じる地域もある。そのような条件不利地域に対しては地域振興費という算定項目をつくり、できるだけ変動が少ないように対応したいと考えている。
- ・ 地方交付税の予見可能性については、内閣府が作成する経済の今後の見通しをベースに、基準財政需要額の全国的な変動をそれぞれの地域の特長的要素を加味し、数年間みただけのようお示ししたところであるが、さらに高められるよう努力してまいりたい。
- ・ 現在、東京都に税が集中する仕組みになっていることについては、十分考えていきたい。
- ・ 頑張る地方応援プログラムによる支援措置は3年を限度としているが、これは引き続いていくような政策になるだろうと考えている。
- ・ 成果に対する支援については、全国指標の中で客観的に評価するのがよいと考えている。なお、交流人口などなかなか指標に現れていないという点については、今後検討していきたい。
- ・ 地域医療については、政府が責任を持たなければならないものであり、政府・与党で合意した事項を早急に実施してまいりたい。